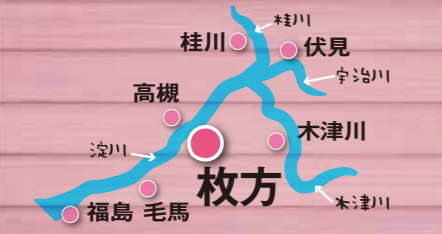


# 出張所の窓辺から

62



淀川管内に7つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介します。今回の担当は枚方出張所です。

枚方出張所から淀川河川公園枚方地区の川岸に向かって10分ほど歩いたところに枚方船着場があります。ここは、地震災害などで陸上交通網が分断した時に舟運を活用した人の乗降や復旧資機材等の荷搬ができるように整備した緊急用船着き場です。

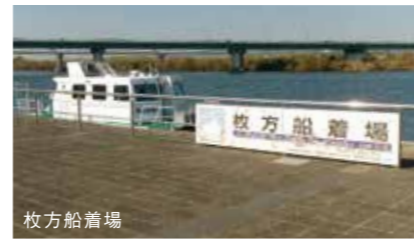
かつては、人々や物資の移動の手段として、大阪一京都間を多くの船が往き来していました。その後、鉄道や道路等の陸上交通網の発達とともに舟運は衰退していきましたが、平成7年の阪神淡路大震災の際、陸上交通網が麻痺する中、復旧資材の輸送に舟運が活用されました。また、堤防の早期復旧の一翼を担ったことから、防災面での舟運の必要性が再認識されるようになりました。

現在では、淀川河口から枚方までの区間に10箇所の緊急用船着場が整備されており、平常時には観光面での役割も担っています。平成29年には大阪市と枚方市間で定期運航が始まり、令和6年10月には枚方～伏見間で観光船の航行が62年ぶりに復活、令和7年3月には淀川ゲート



舟運を活用した防災訓練の様子

ウェイの通行、十三船着き場の利用が開始されました。さらに、大阪・関西万博期間中の令和7年8月には十三から夢洲へ来場者を輸送する社会実験が行われるなど、自治体等とも連携しながら、舟運活性化の取り組みが続いており、令和8年1月16日には舟運を活用した防災訓練も実施されました。ぜひ船着場にも注目してください!



枚方船着場



no. 74  
令和8年3月発行  
2026 春号

# 川で学ぶ 安全に楽しむ



## タコノアシ

学名: *Penthorum chinense Pursh*



秋に赤く色づいた姿はまさに「蛸の足」!

写真提供: 田中レンジャーアドバイザー

自然環境に恵まれた桂川の河原では、都市部を流れる河川でありながら希少な植物である「タコノアシ」が観察できます。タコノアシは湿地環境を好む多年草の種子植物で、春先に芽を出し、梅雨の時期に成長します。草丈は30～90cmほどとなり8～9月には小さな白い花が枝分かれしながら密集して咲きます。秋になると、赤く色づき、その姿が「タコ(蛸)の足」のようにみえることからこの名前が付けられたそうです。

河川の氾濫や攪乱に依存する植物で、水の流れや水位、土壌の栄養、他の植物との競合など、河川環境の変化に影響を受けやすいため、生育地が減少し、「京都府改訂版レッドリスト2022」では絶滅寸前種になっています。

桂川では2021年に植物観察を続ける市民団体によって2箇所で生育が確認され、その後は生育地や株数も増えています。

**いまもの**  
**いっおん**  
第45回

桂川出張所管内河川レンジャー 南良靖雄

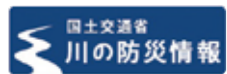
増えている理由はいろいろ考えられますが、市民団体が継続して行っている草刈りなどの環境保全活動もその一つかもしれません。多くの皆さんに桂川の希少植物に関心を持っていただき、川に関わっていただくことが、こうした保全につながると思っています。



夏には小さな白い花を咲かせます。



桂川に自生する絶滅寸前種「タコノアシ」



国土交通省のサイト「川の防災情報」では、全国の河川の雨量・水位情報をチェックできます。川遊び中にお天気の変化が気になったときには、ぜひご利用ください。

<https://www.river.go.jp>



河川レンジャーは淀川流域を舞台に行政と流域住民をつなぐ橋渡し役を担っています。詳しくはホームページをご覧ください。

発行責任者: 淀川管内河川レンジャー事務局

〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32 TEL: 072-861-6801 (平日9時～17時)



<https://www.river-ranger.jp>



次号は7月の発行予定です!

※本誌掲載記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

撮影地: 木津川支流・和束川(京都府相楽郡) 木津川やその支流には特徴のあるフィールドが存在しています。レンジャーが川に入って楽しく安全に遊ぶ方法などを伝えています。

# 水辺の活動を安全に楽しむために

水辺は人を惹きつける魅力にあふれています。しかし、その楽しさの裏に潜むリスクを知らないと、思わぬ事故につながることも。今回は水難事故の現状と、安全に自然体験を楽しむためのポイントを紹介します。

## 子どもの水難事故

約6割は「河川」と「湖沼池」で起きている

### 流速の変化

見た目以上に流れが速い。局所的に急に速くなる場所もある。

### 地形の落差・深み

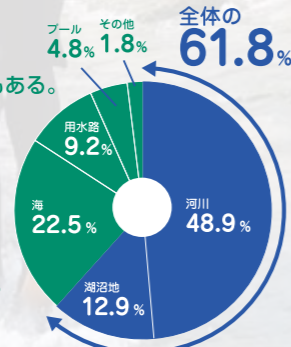
一歩先が急に深くなる、川底の窪みや渦がある。

### 増水・放流

上流での雨やダム放流で水位と流速が急激に変わる。

### 過信・危険認知不足

「浅いから大丈夫」「普段と同じだろう」などの思い込み。



川の事故はなぜ起きる？

出典：(公財)河川財団

## 川に行く際の安全チェック

✓ 天気や安全に関する情報をチェック

遊ぶ場所だけではなく川の周囲や上流も

✓ 川についたら安全確認

深さや流れはどうか？ライフジャケットなどの装備を再確認！

✓ 子供から目を離さない

「誰かが見ている」ではなく役割を決めて下流で見守る

✓ 危険を感じたらすぐ離れる

「せっかくなら」ではなく、安全を第一に考えた行動をしよう！



## レンジャーの活動例

河川レンジャーは、水辺で安心して楽しめるようリスク管理を行って活動するほか、水辺の危険を理解して適切な装備や行動をできるよう、啓発活動を行っています。安心してご参加ください。

### 川の生き物観察会

スタッフを配置して、安全に川の生き物と触れあえるようにしています

正しい知識を持ってれば、水辺での活動はもっと楽しくなる



### 自然体験プログラム

川の流れや深さの変化、危険な生物などに注意しながら川の楽しさを伝えています



### ライフジャケット体験

小学校などのプール授業にて水辺の安全を伝えています

水難事故防止に努めています



## クロベンケイガニは人気者

## 淀川右岸塚本地区 (花川エリア)

淀川の治水や利水に関心を持っていただくきっかけとして、私は身近な生き物の観察から始める活動を行っています。なかでもクロベンケイガニは人気者で、淀川に棲む生物を間近に見ることで参加された方々が目を輝かせてくれます。ブース出展時に観察する個体は前日に採取して自宅で飼育をするのですが、夜行性の彼らは真夜中に小さな物音に反応して一斉に動き出すため、カサカサという音で家族を驚かせることもしばしばです。

主な活動場所の一つである花川エリアは、東淀川区の南西、淀川の右岸に広がる人工の干潟で、淡水と海水が混ざり合う



水槽いっぱいのクロベンケイガニ

花川エリアの干潟の自然観察会



毛馬出張所管内河川レンジャー 岸田俊徳

環境に多様な生物が息しています。干潟に近づくくとクロベンケイガニたちの王国が広がっていますが、夢中になって奥へ入ると足元が急にぬかるみ、思わぬ危険につながることもあります。自然の中での活動や観察

は、生き物に配慮しつつ、安全管理を最優先に行うことが欠かせません。

自然の豊かさそこに潜むリスクを理解し伝えながら、今後も地域のみなさんと淀川の魅力を分かち合っていきたいと思っています。



花川エリア

## 川の自然を安心して楽しむために

木津川やその支流にはたくさんの生き物がいて、特徴あるフィールドもたくさんあるのですが、実際に川に入れるのか、どう近づけるのかは意外と知られていません。自分の大好きな木津川を多くの親子に知ってほしい、実際に川に入り楽しく安全に遊びながら学んでほしい、という思いから、毎年「木津川川ガキ団」という活動をしています。

様々なリスクの情報収集と共有を欠かさず、活動の可否判断にも細心の注意を払っています。川の活動は生き物とのうれしい出会いにあふれています。その感動を心に刻んだ子どもたちが大人になり、いつか自分の子どもと川に来てくれること。川を愛する気持ちが世代を超えて続くことが私の活動の最終目標です。

川という自然の中で安心して楽しむためには、多くの注意が必要です。活動では、はじめに命を守るライフジャケットの正しい着用を徹底した上で、安全な場所で「川流れ」を体験し、遊びながら身につく安全意識を育てています。遊びを通して、もしもの時にもあわてないで対応できる親子になってもらいたいというのが強い願いです。

他にも熱中症や天候急変、さらに昨年はクマの目撃情報もあり、



川の自然を安心して楽しむために。



## 今年も令和8年度の「木津川川ガキ団」団員を募集します。

木津川川ガキ団 募集スタート 3月25日より開始です

詳細へは QRコードで検索



木津川で見つけた小さなスッポン

Green Infra × 河川レンジャー



木津川管内河川レンジャー アドバイザー 田中実知世

水辺の安全ハンドブック 川の危険箇所については水辺の安全ハンドブックで詳しく公開されています

※出典：「水辺の安全ハンドブック」 Illustration/山下 航

河川水難事故防止ポータルサイト 国土交通省が公開している。水難事故防止に関するポータルサイトです

河川レンジャーHP 出前授業の申込や活動への参加は河川レンジャーのHPから